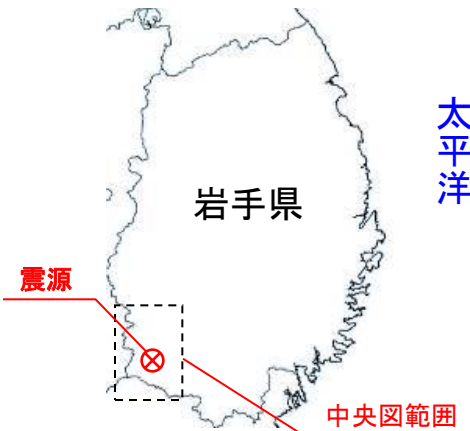


■ 概要

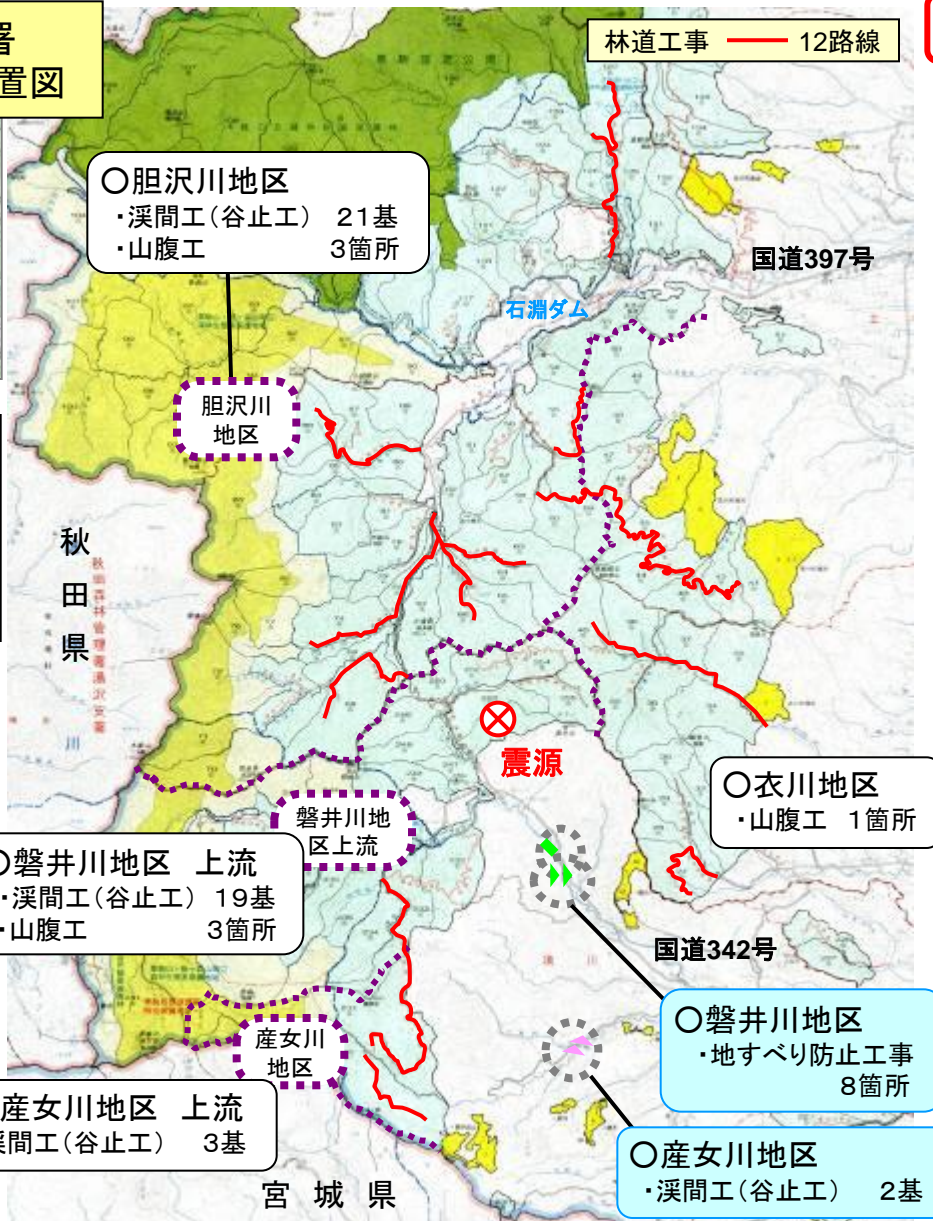
平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成25年度末までに、国有林治山事業で溪間工43基、山腹工7箇所、民有林直轄地すべり防止事業で溪間工12基、山腹工6箇所、林道災害復旧事業で12路線を整備しました。



岩手南部森林管理署 主要災害復旧箇所 位置図



岩手・宮城内陸地震の記録
2008年6月14日 午前8時43分頃発生
地震の規模 M7.2
最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
震源地 岩手県内陸南部
地震の深さ 約8km
山腹崩壊箇所 1,260箇所
(岩手県内、H20東北森林管理局調べ)



平成25年度 工事完了箇所

平成25年度は、民有林直轄地すべり防止事業で3件の工事を実施しました。
そのうち2箇所について、平成26年度に、ニゴリ沢一工区、ニゴリ沢第二工区として、引き続き工事を行ないません。



ニゴリ沢第六工区 [地すべり防止工事]



ニゴリ沢第四工区 [地すべり防止工事]



ニゴリ沢第一工区 [地すべり防止工事]



被災時の状況



復旧状況

○磐井川地区 上流
・溪間工(谷止工) 19基
・山腹工 3箇所

○産女川地区 上流
・溪間工(谷止工) 3基

○胆沢川地区
・溪間工(谷止工) 21基
・山腹工 3箇所

○衣川地区
・山腹工 1箇所

○磐井川地区
・地すべり防止工事 8箇所

○産女川地区
・溪間工(谷止工) 2基

- : 国有林
- : 国有林野内治山災害関連緊急事業・国有林野内直轄治山施設災害復旧事業
- : 直轄治山災害関連緊急事業・磐井川地区民有林直轄地すべり防止事業

○磐井川地区(市野々原)

地震によって市野々原地区では、磐井川の右岸で大規模な地すべり(約20ha,移動土砂360万m³)が発生し、磐井川を150mに渡って塞ぎました。
地すべり土塊は対岸にぶつかって止まりましたが、地すべり地内には大量の不安定土砂や倒木等が発生しました。上流側に形成された土砂ダムが決壊するとこれらの土砂が土石流となって流下し、下流域に甚大な被害を及ぼす危険がありました。



対策工として、地すべり地内の不安定土砂を取り除き、斜面下部で押さえ盛土とし、地すべりを安定化させるとともに森林に復旧させるために緑化を行いました。



平成26年度 施工予定箇所

平成26年度は、民有林直轄地すべり防止事業で昨年度からの引き続き出2件の工事を行っています。(①、②)
 国有林治山事業は2件の工事を行っています。(③、④)

① ニゴリ沢第二工区 [地すべり防止工事] 民有林直轄地すべり防止事業

地震や降雨、融雪等によって、斜面全体が地すべりを起こす危険性がある箇所を安定させる工事を行っています。
 昨年に引き続き、地すべりの末端部の土砂を取り除く排土工と、斜面下部で地すべりの動きを抑える土留工を組み合わせています。



H26.10.31 撮影

② ニゴリ沢第一工区 [地すべり防止工事] 民有林直轄地すべり防止事業

地震や降雨、融雪等によって、斜面全体が地すべりを起こす危険性がある箇所を安定させる工事を行っています。
 昨年に引き続き、地すべりの末端部の土砂を取り除く排土工と、斜面下部で地すべりの動きを抑える押さえアンカー工を組み合わせています。



H26.10.10 撮影

③ H25 産女川治山工事 [資材運搬路] 国有林野事業

治山施設を施工するための資材運搬路の工事を行っています。



H26.10.27 撮影

④ H26 産女川治山工事 [溪間工] 国有林野事業

土石流発生時には、土砂の下流への流出防止のため透過型ダムを施工しています。



H26.10.31 撮影